農村計画学会 2023 年度秋期シンポジウム（第 2 報）

災害対応委員会
秋期大会実行委員会

テーマ：　豪雨の時代の農山村づくり～災害リスクとの共生をめざして

日　時：　2023 年 12 月 10 日（日）
12 時 30 分～14 時 30 分

会　場：　茨城大学阿見キャンパス（土浦駅からバスで 15 分）
（オンラインでの配信は行いません）。

参加費：　無料
非会員にも公開（こちらから参加申し込みをお願いします（～11/30））。

趣　旨：　近年頻発する豪雨災害は，都市部はもとより農山村部においても甚大な被害をもたらしている。今年度の秋期大会の会場である茨城県においても，平成 27 年 9 月関東・東北豪雨で鬼怒川が決壊し，常総市において大きな被害が生じた（いわゆる常総水害）ことは記憶に新しい。こうした大水害への対策として，田んぼダムをはじめとする流域治水の取り組みやハザードマップの作成，土地利用規制や自主防災組織の結成，住民による避難計画の策定等，さまざまな対策が講じられており，これらについてはさらなる議論や効果検証等の蓄積が待たれる。加えて地域性に則した対策のプラットフォーム化や，地域防災の持続性など，さらなる課題も存在する。今回のシンポジウムでは，農山村における豪雨災害に関わる論点整理を行った上で，常総水害からの教訓をもとにした住民主導による避難行動の備え（マイ・タイムライン）について学び，豪雨の時代とさえ称するべき今日における災害リスクとの共生をめざした農山村づくりについて，農村計画学の視点から広く議論しようとするものである。

プログラム：

- 趣旨説明：福与徳文（茨城大学，秋期大会実行委員会委員長）
- 話題提供
  (1) 農山村における豪雨災害に関する論点整理
  柴田　祐（熊本県立大学，災害対応委員会委員長）
  (2) 「逃げ遅れゼロ」を目指した住民による〈マイ・タイムライン〉の推進
  ～水害の教訓を生かした取り組み～
  鈴木美知夫（常総市・危機管理監）
- パネルディスカッション
  - コーディネーター：柴田　祐（前出）
  - パネリスト：菊池義浩（仙台高等専門学校），鈴木孝男（新潟食料農業大学）
  - コメンテーター：広田純一（元学会長，ＮＰＯ法人いわて地域づくり支援センター）